

北見市における景気動向調査報告書

< 第 III 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成22年1月22日

(2) 調査対象期間 平成21年10月～12月期実績および平成22年1月～3月期見通しについて調査した。

2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

3. 回収状況

業種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業	30社	21社	70.0%
建設業	30社	23社	76.7%
卸売業	30社	23社	76.7%
小売業	35社	24社	68.6%
サービス業	25社	17社	68.0%
合計	150社	108社	72.0%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

Ⅱ．概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成21年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」14.8、「悪化企業」51.9、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△37.1となっています。このD・I値を前年同期比と比較してみると、前年同期比△50.0→今回△37.1と12.9ポイントの好転となっています。また、前期比<21年度第Ⅱ四半期>との比較では、前期△37.0→今回△37.1と0.1ポイントの悪化で、ほぼ横ばいとなっています。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値△28.6、建設業D・I値△30.4、卸売業D・I値△21.7、小売業D・I値△41.7、サービス業D・I値△70.6となっており、前年同期調査と比較すると全ての業種で好転傾向を示しており、卸売業で2.3ポイント、小売業で10.3ポイント、サービス業で11.7ポイント、建設業で21.3ポイント、製造業で21.4ポイントとなっており、卸売業では若干好転に留まったものの、その他の業種では大幅な好転傾向を示しています。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」10.2%「悪化企業」57.4%でD・I値△47.2と、前年同期(△66.4)と比べ19.2ポイント好転となっていますがD・I値は決して低くなく、予断を許さない来期見通しとなっています。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生産高

前年比で「増加企業」23.8%、「減少企業」52.4%、D・I値△28.6と前年同期に比べ0.5ポイント好転とほぼ横ばいで推移しています。前期調査との比較では36.4ポイントと大幅な好転を示しています。

採 算

前年比で「好転企業」33.3%、「悪化企業」42.9%、D・I値△9.6と前年同期に比べ44.6ポイントの大幅な好転、前期調査との比較でも20.4ポイント好転となっています。

来期見通し

業況D・I値△28.5、生産高D・I値△28.5、資金繰りD・I値△33.3と、前年同期に比べ全てのD・I値で好転傾向を示しています。特に業況、資金繰りD・I値では25ポイント以上の好転となっており、予断は許さないものの、回復の兆しが伺える来期見通しとなっています。

2) 建 設 業

完成工事高

前年比で「増加企業」34.8%、「減少企業」39.1%、D・I値△4.3と前年同期に比べ68.2ポイントの大幅な好転を示しています。また前期調査との比較でも19.7ポイントの好転となっています。

採 算 前年比で「好転企業」26.1%、「悪化企業」60.9%
D・I値△34.8と前年同期に比べ37.7ポイントの大幅
な好転を示しています。また前期調査との比較でも、13.2
ポイント好転となっています。

来期見通し 業況D・I値△69.5、完成工事高D・I値△65.2、
資金繰りD・I値△52.2と前年同期に比べ全てのD・I値
が好転傾向を示しているものの、数値は高く、厳しい来期見通
しとなっています。

3) 卸売業

売 上 高 前年比で「増加企業」21.7%「減少企業」56.6%、
D・I値△34.9と前年同期に比べ18.9ポイント悪化傾
向を示しています。また前期調査との比較では6.7ポイント
と好転傾向を示しています。

採 算 前年比で「好転企業」13.0%、「悪化企業」30.4%、
D・I値△17.4と前年同期に比べ18.6ポイントの好転
傾向を示しています。前期調査との比較でも24.3ポイント
の好転傾向を示しています。

来期見通し 業況D・I値△26.0、売上高D・I値△26.0、資金
繰りD・I値△21.7と前年同期に比べ全てのD・I値が好
転傾向を示し、特に業況、売上高ともに34.0ポイントと大
幅な好転傾向を示しています。

4) 小売業

売 上 高 前年比で「増加企業」16.7%「減少企業」45.8%、
D・I値△29.1と前年同期と比べて18.9ポイントと大
幅な好転傾向を示しています。一方、前期調査との比較では3.
0ポイントの悪化となっています。

採 算 前年比で「好転企業」12.5%「悪化企業」58.3%、
D・I値△45.8と前年同期と比べ10.2ポイントの好転
傾向を示しております。一方で前期調査との比較では19.7
ポイントの悪化傾向を示しています。

来期見通し 業況D・I値△49.9、売上高D・I値△45.9、資金
繰りD・I値△45.9と、前年同期と比べ全てのD・I値が
大幅な好転傾向を示しています。特に売上高では30ポイント
を超える回復となっています。

5) サービス業

売 上 高 前年比で「増加企業」5.9%、「減少企業」76.5%、
D・I値△70.6と前年同期と比べ11.7ポイントの好転
傾向を示していますが、数値は依然高く、予断を許さない状
況となっています。

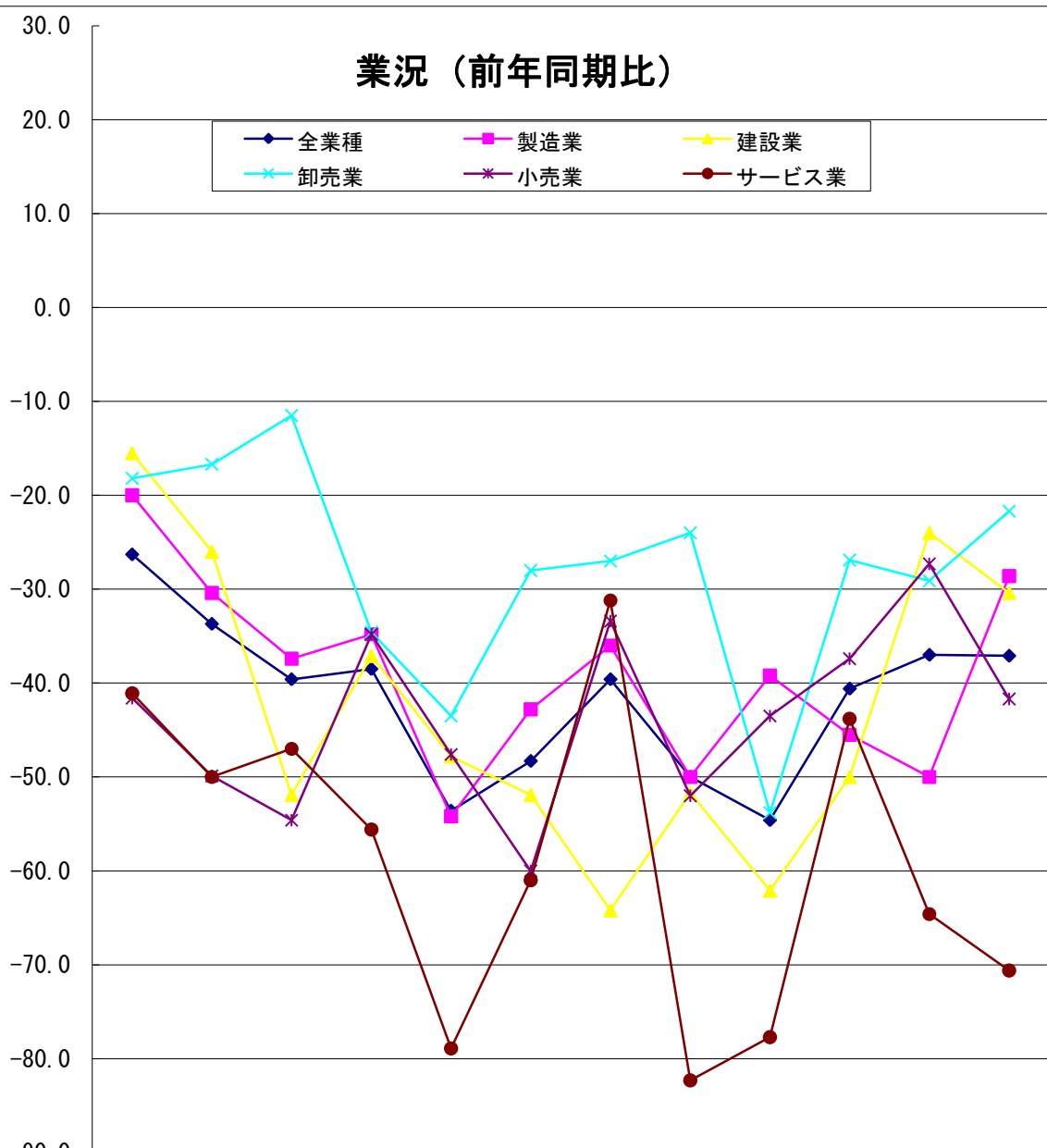
採 算

前年比で「好転企業」11.8%、「悪化企業」70.6%、D・I値△58.8と前年同期と比べ23.5ポイントの好転を示していますが、売上高と同様に数値は高く、厳しい状況が続いています。

来期見通し

業況D・I値△64.7、売上高D・I値△64.7、資金繰りD・I値△41.1と前年同期と比べ、資金繰りD・I値は8.8ポイント好転傾向を示したものの、売上高で5.9ポイント悪化、業況は横ばいで推移となっています。また前期調査との比較では、全て悪化傾向となっています。

業況（前年同期比）



	19.1~3	19.4~6	19.7~9	19.10~12	20.1~3	20.4~6	20.7~9	20.10~12	21.1~3	21.4~6	21.7~9	21.10~12
	18年度IV	19年度I	19年度II	19年度III	19年度IV	20年度I	20年度II	20年度III	20年度IV	21年度I	21年度II	21年度III
◆ 全業種	-26.3	-33.7	-39.6	-38.5	-53.6	-48.3	-39.6	-50.0	-54.6	-40.6	-37.0	-37.1
■ 製造業	-20.0	-30.4	-37.4	-34.8	-54.2	-42.8	-36.0	-50.0	-39.2	-45.5	-50.0	-28.6
▲ 建設業	-15.5	-26.0	-51.9	-37.1	-47.8	-51.9	-64.2	-51.7	-62.1	-50.0	-24.0	-30.4
✕ 卸売業	-18.2	-16.7	-11.5	-34.6	-43.5	-28.0	-27.0	-24.0	-53.8	-26.9	-29.1	-21.7
✱ 小売業	-41.6	-49.9	-54.6	-34.8	-47.6	-60.0	-33.4	-52.0	-43.5	-37.4	-27.3	-41.7
● サービス業	-41.1	-50.0	-47.0	-55.6	-78.9	-61.0	-31.2	-82.3	-77.7	-43.8	-64.6	-70.6

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	人材不足
建 設 業	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人材不足	人件費増
卸 売 業	得意先減少	同業者間の競合	売掛金回収難	諸経費増	人材不足
小 売 業	得意先減少	同業者間の競合	諸経費増	人材不足	人件費増
サービス業	得意先減少	同業者間の競合	諸経費増	人件費増	資金調達困難
合 計	同業者間の競合	得意先減少	諸経費増	人件費増	売掛金回収難

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

前年同期と比較すると、全体の順位はトップが「同業者間の競合」、次に「得意先減少」と逆転した。また、業種別でも製造業、建設業で「同業者間の競合」が1位となっている。なお、製造業で前年同期調査時にトップだった「諸経費増」は減少となっている。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

(製造) ○客単価の減少 (鉄工)

(建設) ○工事量の激減。元請の競争による原価を割る受注合戦の激化 (板金)

(卸売) ○訪問販売における得意先が減少 (化粧品)

(小売) ○農家に対する国の補助事業の減少 (農機具)

業 況

重複回答を特記すると、サービス業の「ホテル（宿泊）」で4社、「飲食」で2社が悪化、小売業の衣料品で2社が悪化となっている。

製造業 ⇒ 好転（重複該当なし、菓子製造、印刷、金属、建材）

悪化（重複該当なし、製材）

建設業 ⇒ 好転（重複該当なし、土木工事、とび・土木）

悪化（重複該当なし、舗装・一般土木、内線工事、土木、空気調和設備、塗装、板金管工事・暖冷房工）

卸売業 ⇒ 好転（重複該当なし、青果、建築資材）

悪化（重複該当なし、外材原木）

小売業 ⇒ 好転（重複該当なし、自動車、家具）

悪化（衣料品、機械工具、農業機械、画材）

サービス業 ⇒ 好転（重複該当なし、IT）

悪化（ホテル（宿泊）、飲食、ビルメンテナンス、クリーニング、理容、理美容、レンタカー）